

四王寺営農組合「集落営農ビジョン」
(人材確保型支援 ・ 規模拡大・発展型支援)

※該当する支援メニューに○を記入

作成日：令和 6 年 5 月 24 日

修正日： 年 月 日

市町村名	倉吉市	組織名	農事組合法人 四王寺営農組合	
1 地区の範囲 倉吉市四王寺地区（大谷、不入岡、大谷茶屋、上神、寺谷、北面 6 地区集落）				
2 地区の概要				
水田面積 91.94 h a		主な水田栽培作目 水稻、大豆		農家数 128 戸
認定農業者数 1 経営体		人・農地プランの中心となる経営体数 1 経営体		
		目標地区に位置付けられる経営体数 経営体		
3 組織の概要				
設立時期 (規約等の制定日) 平成 21 年 4 月 19 日		経営面積 68.5 h a		構成農家数 128 戸
組織形態（該当形態に○を記入） ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型				
役員の数・年齢 8 人（平均年齢 64.3 歳）				
オペレーターの数・年齢 17 人（平均年齢 63.5 歳）				
その他集落営農活動に参画している人数・年齢 人（平均年齢 歳）				

4 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標

・農事組合法人四王寺営農組合は、耕作地が倉吉市四王寺山周囲に接し地形的に生産条件が不利な中山間地域に位置している。また、小規模兼業農家が多く、個人、集落単位の組織では安定した水田経営が見込めないことから「大谷」「不入岡」「大谷茶屋」「上神」「原谷」「寺谷」「北面」の7農事組合組織、6集落が一つになり組織された農事組合法人です。

・農業従事者の高齢化・後継者不足が緊急の課題であり、地域の農地は自分たちで守ることを前提に共同作業等の組合事業参加者の拡大と次世代への交代の円滑化を図り、地域住民との交流をより深めるため「親子で田植えイベント」等を開催して水田農業に対する理解を深めることで次世代後継者の育成に努めている。

・地区内の水田集積面積は約60haあり、地区水田の65.2%を集積している。自作している農家の高齢化に伴い今後は本法人が担い手の中心となり運営したい。

・当面は団地化とブロックローテーションを行い大豆面積の拡大を図り、目標として地域内の集積面積集積率68.5%を目指す。

(2) 水田の作付計画（水稲以外の作物を含む）、活用方針・具体策

・当農事組合法人は水稲42ha、大豆21ha および白ネギ0.3haを耕作している。令和6年度の水稲は「ひとめぼれ1.7ha」「星空舞10.9ha」「きぬむすめ27.9ha」「日本晴2.3」の4品種で近年の夏期高温障害に強い「星空舞」の作付を徐々に増やしている。大豆は毎年ブロックローテーションによる作付を行なっている

(3) 農業用機械施設の効率利用

・現在本法人で所有している大豆コンバインは1台所有しているが、大豆20ha以上の刈取を1台では限界がある。そのため外部委託しているのが現状である。大豆収穫には天候が大きく影響されるほか圃場も広範囲に点在しているため移動にも時間がかかっている。新規に大豆コンバインを導入することにより、適期収穫することが可能となり、収穫時期の短縮と品質の向上と収量の増加が期待できる。同様に水稲コンバイン及びウイングハローを追加導入することで作業効率を上げ生産性を向上を行いたい。

・事務所に併設している農機具格納庫には、トラクター3台、水稲コンバイン3台、田植機2台、大豆コンバイン1台のほか大小様々な農業用機械や肥料、農薬等を一年中保管しており、空きスペースがない状態である。そのため、新たに農機具格納庫1棟を新設し、新規に導入予定の機械を保管する。

(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針

・本法人では圃場の管理は所有者自身で行うことが前提ではあるが、従事者の高齢化と若者の農業離れもすすんでおり後継者不足が大きな課題である。今後は各地区のリーダーを中心に共同作業を推進して農地を維持し、将来的には法人の常用雇用を増やすことも検討に入れて組織運営の安定と経営を維持していきたい。

(5) 経営多角化の方針・具体策

・基本的に水稲と転作作物として大豆栽培が中心であるが、品質・収穫量を上げるため JA および普及所からの情報を取り入れたい。また冬期には白ネギの栽培を行っているが面積拡大並びに他の野菜栽培にも検討し経営の安定を図る。

【人材確保型支援は記入必須】

5 人材確保のための取組方針

【項目】		【実施年度】		
		○年度	○年度	○年度
人材 育 成 研 修	実務研修			
	免許取得			
	その他			
集落営農活動への参画				

【人材確保型支援（うち畦畔管理省力化支援）は記入必須】

6 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所：

施工対象面積（畦畔実面積）： ha

本田（＝水張）面積： ha

年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度
1年目				
2年目				
3年目				

注1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

(機械利用対象畦畔面積 ha、本田（＝水張）面積 ha)

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内容	現状 (年度)	事業実施後 (年度)
取組対象(予定)面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間 作業時間		

- 注1) 取組対象圃場について記載すること。
2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

【規模拡大・発展型支援は記入必須】

7 集積(経営、機械の共同利用及び作業受託)の目標

【項目】		【現状】	【目標】 令和9年度
農地 の 集 積	集積面積 A	59.97ha	63.08ha
	対象水田面積 B	91.94ha	91.94ha
	集積率 A/B	65.2%	68.6%
	地区外集積面積 C	8.62ha	10.00ha
	経営面積 A+C	68.59ha	73.08ha
経営の多角化への取組		白ネギ、芝の栽培	白ネギ、芝の栽培

注1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。

8 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による 導入機械に○
大豆コンバイン	45PS	1台	9,719,600	R6.10	○
ウイングハロー	WRZ3400N	1台	1,313,400	R7.4	○
農機具格納庫	SOBU5857	1棟	4,400,000	R7.4	○
水稻コンバイン	DRZ472S	1台	12,735,800	R8.9	○

9 添付資料

- 人材確保型支援は研修計画一覧（参考様式）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。
- 規模拡大・発展型支援は集積状況一覧（別表1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。

注1）目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。

2）経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。